

第3章 二つの世界大戦と日本 2 政党政治の時代
3 護憲三派内閣と協調外交のゆきづまり (p.112~113)

護憲三派内閣の成立

- ・1924年 [] 内閣成立
[] 議員中心の非政党内閣
- ・[] による [] 起こる
護憲三派：[] (加藤高明総裁)
[] (高橋是清総裁)
[] (犬養毅総裁)
→政党内閣樹立，普通選挙実現を主張
→総選挙に勝利，護憲三派内閣成立
- ・[] …衆議員の第一党の党首が首相になり，倒閣の際には第二党の党首が首相となる慣行
1924年の第1次加藤高明内閣～1932年の犬養毅内閣まで続く

男性普通選挙法と治安維持法

- ・[] 内閣 (護憲三派内閣) の政策
(1) 1925年 []
[] 歳以上の [] に選挙権を付与
※納税資格の撤廃
- (2) 1925年 []
「[]」の变革や [] 制度の否認を目的とする結社組織や参加者を処罰
無産階級の政治進出抑制が目的
- ・その後提携を解消
→憲政会単独内閣へ
第2次加藤高明内閣
第1次若槻礼次郎内閣

山東出兵と協調外交のゆきづまり

- ・1926年 中国で [] 開始
蒋介石ひきいる中国 [] が [] 打倒による中国統一をめざす
→1927年 [] に [] 樹立
- ・[] 内閣 (政友会) の強硬外交
1928年 パリで [] 調印…欧米とは協調
⇔1927年 [] により北伐へ武力干渉
→1928年 [] を起こす
[] が奉天郊外で軍閥張作霖を爆殺
→田中首相は [] として真相を隠匿，昭和天皇の怒りをかい総辞職
- ・[] 内閣 (立憲民政党) の協調外交
幣原外相の協調外交が復活
1930年 [] 参加
日・米・英の [] 保有量を制限
↑
反対派は軍令部の承認なしの調印を問題視 ([])

第1回普通選挙と治安維持法改正

- ・1928年 普通選挙による最初の総選挙
→ [] から8名当選
- ・田中内閣の対応
共産党員を一斉検挙 ([]) ・ []
治安維持法の厳罰化… [] と無期刑を導入
[] (特高) を全国に設置